



岩手県下水道公社では、岩手県内市町村の下水道事業に携わる職員の技術力向上を目的に、技術研修を開催しており、今年度2回目となる研修を下記日程にて開催しました。

開催日：H28.7.6～H28.7.7（2日間）開催場所：都南浄化センター（盛岡市東見前3-10-2）

参加者：12市町村 28名



研修は、（公社）日本下水道管路管理業協会 常務理事 篠田 康弘 氏から下水道管路の維持管理について、点検・調査方法から修繕・改築の手法まで維持管理の全般について御講演をいただきました。グラウンドマンホール維持管理推進委員会 様には、マンホール蓋の維持管理の重要性について御講演いただきました。また、市町村の事例発表として、久慈市が現在取り組んでいる管渠施設整備の民間活用について、現在までの状況を報告していただきました。

上記のほか、当公社から「下水道知識の普及啓発活動」「管路施設の維持管理事例」「処理場設備の維持管理と点検整備計画の立て方」「処理場の水質管理と微生物の見方及び水質のトラブル対応」について、事例を紹介しました。